

科目区分	専門分野			科目番号		曜日時間	
授業科目	看護研究演習						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	3年次通年	授業形態	演習
担当教員	宮下 梨沙						
授業目的	1. 過去の文献を研究することで得られた知識や理論を、演繹法で検証できる。 2. 系統的・科学的な思考を身につけるための研究の基礎を、看護研究を通して理解できる。						
中核	看護現象の探求による知の創造						
授業目標	1. 看護研究のための一連の流れが分かり、研究に取り組むことができる 2. 興味のある問題を追求し、研究することができる 3. 論文をまとめることができる（倫理的配慮・表現方法の理解） 4. 自分の意見を発表できる						
授業の内容と方法	回	授業内容		授業方法	時間	備考	
	1	ケーススタディの進め方		講義	2	講義以外は各担当教員（グループ別）	
	2	事例の選択		演習	10		
	3	1) 研究方法の決定、研究計画書作成					
		2) 文献検索、クリティーク					
	4	3) データ収集					
		4) データの分析					
	5	5) 分析の解釈、結果					
		6) 結果・結論					
	6	論文作成					
		1) 引用参考文献の活用					
	7	2) 論文の修正・追加					
	7	研究成果の発表準備		講義	2		
	8			演習	16		
	9						
10							
11	看護研究演習発表						
12							
13							
14							
15							
評価計画方法	ルーブリック評価（研究態度・研究論文・発表）						
テキスト参考図書	坂下玲子：系統看護学講座 別巻 看護研究【電子版】，医学書院 松本学：新版 看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方，照林社，第2版，2020 國澤尚子：はじめて学ぶケーススタディ，総合医学社，第1版，2016 豊田修一：看護師・保健師をめざす人のやさしい統計処理，実教出版，2020						
事前学習事後学習	看護研究理論の復習、興味・関心のあるテーマに関する論文・書籍を読む						
実務歴有	看護師・保健師：病院勤務 14年 看護教員：学校勤務 2年						
講義への反映	臨床での看護研究の実践を通して看護研究の意義を明確に持ち、「看護とは」を追求する機会となるように演習を組み立てる。						
備考	将来、専門職として研究活動を行う際の基礎となります。研究計画書をもとに、担当教員と日程を調整しながら主体的かつ計画的に進めていきましょう。						